

第92回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年9月7日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第92回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○政府現地対策本部

・野田新内閣発足により末松本部長が総理補佐官になった。官房長官が新しい本部長を人選中である。

○小野寺危機管理監

・死者は9,383人であり、行方不明者は2,283人であり、全壊73,219棟、避難所は118施設、避難者は2,888人である。

○環境生活部

・水道の放射能値は変動なしであり、空間も安定して推移している。9月12日に第1回原発事故対策県民会議を実施する。

○河端経済商工観光部長

・雇用維持奨励金制度を創設する。国の助成金に上乗せして補助し、雇用確保のための体制を整備する。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児は石巻で2人増加し、122人である。
- ・育英募金は申請件数が764件で総額10億円超である。
- ・県内市町村に保健師を派遣した。
- ・災害ボランティアは台風の影響で減少した。
- ・民間借り上げは23,359件である。

○千葉農林水産部長

・牛糞堆肥、放射能物質、3市町で許容値を超過した。個別検査を実施する。

- ・野菜、牧草の損害として2億2千万円の損害賠償をJA協議会で東京電力に要求する。

○橋本土木部長

- ・道路通行規制の解除が進んでいる。港湾カントリー2号線が9月5日から再開した。
- ・仙台空港の台湾便が10月30日から、ターミナルビルは9月25日に全面再開する。
- ・建築制限について、石巻市で9月12日に地域指定する。

○竹内警察本部長

- ・遺体は9,947体収容した。昨日5体で2週間で38体収容した。海上は84%である。遺体の引渡は9,943体であり、遺族が7,758体、市町村が1,675体である。

○海上保安庁

- ・遺体を18体収容した。

○教育委員会

- ・被害校が3校増加し、避難所の学校は5校減り39校である。

○企業局

- ・上水の放射能は不検出である。
- ・アクセス鉄道は10月1日に再開見込みであり、代替バスは9月末に終了する。網地島暫定ダイヤが運行している。

○村井災害対策本部長

- ・政府現地対策本部長の新本部長について、官房長官より厳選中選定中である旨の連絡があった。
- ・9月11日で震災後半年になり、だいぶ落ち着いてきたが、被災者は不安を抱いている。被災者の気持ちをよくくみ取りながら気をゆるめることなく仕事に励んでほしい。
- ・台風12号が関西で猛威を振るい大きな被害を出している。大きな被害が来ることを想定し万全の体制で臨んでほしい。

- ・次回は9月21日10時00分に開催する。